

## 講習会実施報告

訓練実施・日時 令和4年7月5日 13時30分～15時00分 名称 「くらしのセミナー」 『私たちができる災害の備え』 場所 高松市香西コミュニティセンター 高松市香西本町476-1 TEL, 087-882-0294	
参加者	参加人数 24名 コミュニティ関係者 0名 一般社団法人 香川県LPガス協会 1名
講習内容	香川県消費生活センター依頼による「くらしのセミナー」の一環として実施。 「過去の地震から学ぶ」(プレートと活断層について、慶長伏見地震と酷似)、「私たちができる災害対策」(ハザードマップの確認、避難先等を決めておく、電話番号等を控えておく、常用薬名を控えておく、24時間以内に使用するものを持ち出しの準備及び72時間に使用するものを準備保有しておく、タンス等の転倒防止対策をしておく)等について説明。その他、自動車(発電機として、バッテリーとラジオ、コンバータの保有等)により活用方法。「LPガスはなぜ災害に強いエネルギーと言われるのか。」(LPガスの特性等について)「LPガスの安全対策」(マイコンメーター、張力式高低圧ホース、容器、ガス器具等について)「LPガスで災害対策」(災害用バルク、ガス発電機他)「最後の砦・石油備蓄法による中核充填所」(中核充填所の設備と役割他)「(一社)香川県LPガス協会の取り組み」(香川県との防災協定、ガス器具の保有等)について説明した。なお、受講者全員に安全委員会作成のリーフレット、中核充填所リーフレット、マイコンメーターの復帰操作の吊り下げ、LPガス使用についてのシール、綿バッグを配布した。
今回の講習の達成状況 香川県においては災害の危機感がないことから南海地震等の災害についてのリスクと中央構造線上での地震の可能性もあることも説明し、津波において平成16年の高潮被害時においては通常より1メートル高かったが、津波想定は2m～3mなので、16年より1m～2m高い位置に避難するように説明し、避難できない場合は、垂直避難するように理解してもらった。安全委員会で作成したリーフレットを使用して事前にハザードマップを活用して、家庭内で事前に避難所を決めておく、電話番号、常用薬を記入し、自動車等屋内に入らなくても取り出しやすいところに保管する等、自分たちでできる災害対策について重点を置いて説明したことからご理解が得られたと考えている。 マイコンメーターの機能と復帰操作についても安全委員会で作成した吊り下げで説明したおかげで、わかりやすく理解が得られたと感じている。 また、都市ガスとLPガスが混在する地域であることから、避難所等で炊き出し用のLPガス器具の必要性について説明。その他、安全委員会作成の綿バッグについては好評を得られた。	
来年度に向けた課題等について この地域については、平成16年時に高潮被害があったことから、東南海地震等においては津波について特に重点的に説明を行った。ハザードマップについては、避難所を指定している市町村のホームページ等を確認するようお願いし、事前に避難所となっているところであっても災害によっては避難所として不適な場合もあることから確認をお願いした。香川県は温暖で雨が少ないことから災害が少ないことから災害に対する危機意識があまりないことから意識改革からの説明が必要と思われる。また、特に河川による氾濫の場合、大きな河川がないことから、特に香川県では警報自体があまり出たことがないことから危機感もなく時間的猶予も見当がつかないことから説明が難しい状況である。	

